

笠松町名誉町民 松原 登士弘さん逝去



本町名誉町民 松原 登士弘さん(満94歳)は、令和3年6月2日に逝去されました。ここに、生前のご功績を偲び、謹んでお知らせいたします。

松原さんは、昭和22年に光製作所を創業、昭和37年12月代表取締役社長に就任、平成11年6月からは同会長に就任され、航空宇宙産業を担う県下有数のハイテク企業に成長させることにより、地域の産業の振興や雇用の確保などに大きく貢献されました。

昭和36年に笠松町商工会に加入し、理事、会長を務め、会員数の増加や小規模事業者の育成と商工会組織の基盤強化に寄与されました。

一方、(福)笠松町社会福祉協議会監事、(福)羽島郡福寿会理事長などの要職に就任し、特別養護老人ホームリバーサイド川島園(平成7年4月開設)やリバーサイド笠松園(平成16年7月開設)の建設に尽力されるなど、羽島郡の老人福祉の充実に大きく貢献されました。

また、町の各種委員会においても多数の要職を歴任され、地方自治の振興発展にも多大な功績を残されました。

特に、青少年育成や学校教育の向上に強い思いを持たれ、次代を担う若者のためにと、笠松町内小中学校の教育施設や図書室整備費として多額の寄附をされるなど、町の未来を見据え、学校教育環境の向上に努められました。

こうした数々の優れた功績を永く讃えるため、平成21年6月に笠松町名誉町民に選定いたしました。

平成26年秋には、商工会長として記帳機械化事業の推進や小規模企業共済制度の普及に尽力されたほか、岐阜県経済同友会の筆頭代表幹事、特別幹事、相談役などを務め、笠松町のみならず岐阜県全域での経済界の発展に大きく貢献された功績が認められ、中小企業振興功労として「旭日双光章」を受章されました。

また、笠松町の未来を担う子ども達に、先人の教えを学び、未来へ夢を持ってもらいたいとの願いから、歴史未来館(平成27年6月開館)の建設事業費として3億円の寄附のほか、教育施設整備資金としても多額の寄附をされ、平成23年、平成26年、平成29年の3度にわたり「紺綬褒章」を受章されました。

本町へのご厚情に感謝を申し上げ、謹んで哀悼の意を表しますとともに、安らかなるご冥福を心からお祈り申し上げます。

なお、歴史未来館2階に弔意記帳所を設けています(7月末まで受付)。